

子どもたちをとりまく状況を考える

「キミの声を伝える、キミとつながる」

講師 橋ジュンさん, K E Nさん

日時 2010年10月7日(木) 午後6時半から8時半

会場 四谷地域センター(11階 集会室4) 新宿区内藤町87番地

■橋ジュンさん

(特定非営利活動法人 BOND プロジェクト代表, 『VOICES MAGAZINE』編集長)

10代の終わり、レディスチームのリーダーとして取材を受けたことをきっかけに、エッセイの執筆、ビデオ・レポーターなどの活動を開始した橋ジュンさん。2006年、フリーペーパー『VOICES MAGAZINE』を創刊。家族・傷・友人関係などをテーマに、10代へ向けた記事と彼女らの肉声を掲載し、街で配布している。

新宿や渋谷の繁華街を歩き、気になる少女に声をかけ、話を聞かせてもらう。援助交際やリストカット、OD(薬物過剰摂取)などといった、広い意味での“自傷行為”をくり返している子が多いという。

少女たちを中心に3,000人以上から話を聞きとり、彼女たちの声を伝えつづけてきたが、伝えるだけでは済ませられない現状に対応していく必要性を感じ、2009年、NPO法人BONDプロジェクトを設立。少女たちが夜に安心して過ごせる場、じぶんのペースでありのままのじぶんを表現できる居場所、つながりをもてる場の必要性から、女性向けネットカフェ「MELT」(渋谷百軒店)を拠点に、活動をさらに広げている。

著書 『漂流少女 一夜の街に居場所を求めて一』(太郎次郎社エディタス, 2010年07月)

『VOICES ～キミの声を伝える～』(株式会社グラフ社, 2010年08月)

■K E Nさん

(Photographer)

ファッション、グラビアなどのフリーアシスタントを経て、24才の時、フリーランスに。東南アジアや東ヨーロッパなどを撮り歩き、1997年3月に東銀座アトリエにて写真展「黄色」を開催。広告撮影から商業誌などを手掛け、ティーン誌ではアウトローな生き方の少年少女達を撮りおろす。私財を投じ、ライター「橋ジュン」と共に2006年『VOICES MAGAZINE』を創刊。以来、一瞬のつながりを街に求めて、傷つき、さまよう少女たちに「キミの声を聞かせて…」と、声をかけ、少女たちの声を聞いて、心を写し、リアルを伝えている。2008年4月、渋谷大盛堂書店にて「VOICES展」開催。現在11号(特別号ふくみ)を発刊。VOICES MAGAZINE Art Direction&Photographer。

(資料代 500円) ※会場は、裏面の地図をご覧ください

案内図

